

平成 22 年 10 月 13 日

生物多様性条約第 10 回締約国会議における
国土交通省関連のサイドイベント及び展示の実施について（お知らせ）

〈お問い合わせ先〉

代 表：03-5253-8111

■総合政策局環境政策課

横田、鈴木（内線 24423、24433）

■都市・地域整備局公園緑地・景観課

大石、一言（内線 32972、32963）

■河川局河川環境課

古市、入交（内線 35432、35433）

■港湾局国際・環境課

馬場、越後谷（内線 46674）

10 月 18 日から 29 日に、愛知県名古屋市において、生物多様性条約第 10 回締約国会議（COP10）が開催されます。

会議では、生物多様性の保全と持続可能な利用のための 2010 年以降の各国共通目標（新戦略計画）等について、議論が行われます。

国土交通省関連では、会議期間中に、会議場等で「沿岸域の生物多様性」「都市と生物多様性」「内陸水の生物多様性」「開発と生物多様性の調和」に関する 5 つのサイドイベントを開催するとともに、会議場のある白鳥広場の生物多様性交流フェアで開発と生物多様性の調和に資する日本の取組（経験・技術）を紹介する展示ブースを出展しますので、お知らせします。

1. サイドイベント

① 沿岸域の生物多様性～沿岸域の再生を通じた地球環境改善対策～

〈日時〉10 月 20 日（水）15:00～18:00 生物多様性交流フェア会場

〈概要〉沿岸・海洋がもたらす生態系サービスは、食糧危機や地球温暖化などの様々な地球規模課題に対する複合的な解決手段として注目を集めている。日本の閉鎖性海域等における水質改善に関する研究成果や環境再生技術を紹介するとともに、里海、ブルーカーボンといった地域活性化、地球環境問題への貢献という新たな視点を交え、これからの「沿岸域の再生」の意義や方向性について議論する。

参考 http://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_fr6_000005.html

〈パネラー〉

磯部 雅彦 氏（東京大学副学長）

武内 和彦 氏（国連大学副学長）

土屋 誠 氏（琉球大学教授）

中村 由行 氏（独立行政法人港湾空港技術研究所 研究主監）

② 都市と生物多様性

<日時>10月20日(水) 18:15~19:45 名古屋国際会議場イベントホール

<概要>人口が集中する都市における生物多様性保全の取組が世界的にも注目されはじめており、COP10においても「生物多様性のための都市・地方自治体の行動計画」が議論される予定となっている。こうした中で、我が国の緑地等の保全、再生、創出の取組ならびに市民参画によるマネジメントなどについての取組内容を紹介し、都市における行動のあり方について議論を行う。

<パネラー>

香坂 玲 氏 (名古屋市立大学 准教授)
井本 郁子 氏 ((株)緑生研究所 顧問)
小林 達明 氏 (千葉大学 教授)
山下 博美 氏 (名古屋大学 特任准教授)

③ ダイナミックな大地に生きる ―急峻な山地から外洋まで―

<日時>10月22日(金) 10:30~12:15 生物多様性交流フェア会場

<概要>日本列島の地形・地質・気候の厳しい沿岸・山間の地域で、自然への知恵にもとづき、今日の技術も導入しながら生きている日本人の姿を、防災および生態系保全の観点から中部地方の事例を中心に紹介する。具体的には、木曽川の山地流域における土砂災害伝承や、ホテルなどの生態系保全の取り組み、また、遠州灘沿岸の愛知県表浜海岸における海岸保全(侵食対策)と砂浜におけるアカウミガメの保護活動の取り組み等を紹介する。

また、世界の状況について、これらの観点について国際的知見をもつ外国人専門家からの話題提供者をCOP10参加者からお願いし、討論を行う。

<パネラー>(調整中)

清野 聡子 氏 (九州大学准教授)
ヴィエロス マルジョ 氏 (国連大学博士)
伊藤 和久 氏 (愛知県建設部河川課長)
青木 伸一 氏 (豊橋技術科学大学教授)
田中 雄二 氏 (NPO 法人表浜ネットワーク代表)
小林 俊彦 氏 ((財)妻籠を愛する会理事長)
安保 辰己 氏 (中津川市災害対策協議会事務局)

④ 内陸水の生物多様性保全

<日時>10月22日(金) 18:15 ~19:45 名古屋国際会議場内白鳥ホール

<概要>生物多様性の保全の観点から河川等の内陸水が果たすべき役割について考えるため、多自然川づくりやコウノトリの生息環境保全等の動きを取り上げ、現状の課題や具体的取組内容を紹介する。また、様々な施策を進める上での基盤となる生態学的知見の深化や保全技術の向上を指向した応用生態工学的視点からの検討の取組を紹介する。さらに、今後の取組の発展の方向について国際的視点も含めた議論を行い、河川等の内陸水における生物多様性保全のあり方について共通の理解を深めることを目指す。

<パネラー>

萱場 祐一 氏（独立行政法人土木研究所自然共生研究センター長）

島谷 幸宏 氏（九州大学教授）

関 健志 氏（財団法人日本生態系協会事務局長）

辻本 哲郎 氏（名古屋大学大学院教授）

⑤ 開発と生物多様性保全の調和 ～社会資本整備における日本の経験・技術～

<日時>10月26日（火）13:15～14:45 名古屋国際会議場211B

<概要>我が国はこれまで、急速な開発に伴う環境問題を経験し、様々な取組によりこれを克服してきた。今後開発が見込まれるアジアを中心とする諸外国に、我が国における国土管理的技術、大規模事業における環境配慮、自然再生の取組、建設業の有する技術などの報告を通じ、生物多様性に配慮したインフラ整備を通じた人と自然の共生の実現に向け、日本の取組（経験・技術）を提示していく。

<パネラー>

辻本 哲郎 氏（名古屋大学教授）

藤森 祥弘 氏（国土交通省総合政策局技術参事官）

磯部 雅彦 氏（東京大学副学長）

竹谷 栄一 氏（中日本高速道路株式会社 執行役員 企画本部副本部長）

山田 順之 氏（鹿島建設株式会社 環境本部地球環境室次長）

2. 展示ブースの出展

期間：10月11日（月）～10月29日（金）

場所：生物多様性交流フェア会場

内容：開発と生物多様性の調和に資する日本の取組（経験・技術）を紹介

<注意事項>

サイドイベントのうち②、④、⑤の行われる名古屋国際会議場に入場するには、登録が必要です。なお、一般の方の参加登録は9月30日で締め切られています。

取材記者登録については、日本政府公式ホームページをご参照ください。

<参考>

COP10 日本政府公式ホームページ

<http://www.cop10.go.jp/>

国土交通省の生物多様性保全に向けた取組

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_fr_000107.html/